



研究者名※	渡部麻実 WATANABE Mami	学位※	博士(文学)
所属※	文学部 日本文学科	職名※	教授
連絡先	watanabem@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	<a href="https://researchmap.jp/read0132032">https://researchmap.jp/read0132032</a>		
研究分野※	日本文学		
研究キーワード※	近・現代文学		
共同研究・競争的資金等の研究課題	近代日本作家の旧蔵書を対象とする調査研究		
社会貢献・産学官連携活動等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開講座「堀辰雄の〈奈良〉」天理大学文学部公開講座(「大和学への招待」特集「大和のことばと文学」、於奈良県中小企業会館)</li> <li>・堀辰雄文学記念館秋の講演会「堀辰雄生誕110年に寄せて―「生きめやも」再考」(軽井沢町、於追分公民館)</li> </ul>		
受賞歴	青木生子賞(学術)		

研究領域	日本近現代文学	(SDGs)
研究テーマ※	〈読書場〉が再構成する、堀辰雄・遠藤周作を中心とした日本近代文学テキストの分析可能性ならびに、研究資料としての旧蔵書の保護・データ化・活用に関する研究	
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 作家のマニュスクリ(手書き)を対象とした資料研究の分野において、旧蔵書への書き入れは、草稿や創作ノートに比し、研究が十分には進展していない。他方、戦前期の書物、とくに洋書を中心に、近代作家の旧蔵書は劣化・書き込みの退色が著しく、早急な保護と整理を要する。 こうした状況をふまえ、手書き資料としての〈書き込み〉を手掛かりに、〈読む〉作家をキーワードとして、読む〈読書場〉と読まれる〈読書場〉を再構成することで、文学テキストの解釈可能性と研究手法の展開を追求する。</p> <p>【応用例、研究の展望】 複数作家の旧蔵書群を紐解き、書き入れの具体的状況、あるいは蔵書の相互貸借関係等を分析することで、文学者ネットワークを新たに問い直すことができる。 旧蔵書への書き入れ状況を整理し、データベースを構築することで、新たな研究コンテンツを開発・提供できる可能性がある。</p> <p>【研究方法の特色】 堀辰雄・遠藤周作の旧蔵書書き入れに関する資料を広く収集・分析している。</p>	
本研究関連特許・論文等	「堀辰雄「(出帆)」と『萬葉集』―古の歌を歌うこと、あるいは防人歌を歌わない防人たち―」(「日本近代文学」101,2019)、「読書場の『菜穂子』―遠藤周作の書棚から―」(「國語と國文学」97-5,2020)、「堀辰雄の『萬葉集』受容に関する総合的研究―旧蔵書調査を中心として―」(「戦争と萬葉集」3,2021)	
共同研究・外部機関との連携への期待	近代作家旧蔵書群データベースの構築。関連資料館・文学館との連携。	